

調査書作成要領

項 目	基 本 事 項	留 意 事 項
<p>【一般的事項】</p> <p>1 各教科の学習の記録</p>	<p>調査書の記入は、小学校児童指導要録（以下「児童指導要録」という。）に基づいて記入するものであるが、次の点に留意して記入すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書の作成に当たっては、様式第3号を用いること。 2 鮮明に記入すること。記入する数字は、すべて算用数字を用いる。ただし、現住所欄等表記上算用数字を用いるのが不適当な場合については、漢数字を用いてもよい。 3 記入事項がない場合又は記入できない場合は、斜線（/）を引くこと。ただし、特別活動の記録の活動状況及び行動の記録の欄についてはこの限りでない。 4 誤記を訂正する場合は、2本の線（＝）を引いて訂正し、欄外に「 字訂正」と記して、そこに校長印を押すこと。 5 提出する調査書は、原本を複写したものに、校長印及び記載責任者の印を押して提出してもよい。 6 「受験番号」は、記入しないこと。 7 「児童氏名」は、入学願書と同一に記入すること。 8 「現住所」は、郡・市名から記入すること。 <p>1 観点別学習状況 ア 第5学年の欄は、児童指導要録から転記する。 イ 第6学年の欄は、1学期の記録を記入する。</p> <p>2 評定 ア 第5学年の欄は、児童指導要録から転記する。 イ 第6学年の欄は、1学期の記録を記入する。</p>	<p>募集要項に添付してある用紙を複写して用いてもよい。また、様式を踏まえれば、ワードプロセッサ等により用紙を作成してもよい。</p> <p>記入できない項目がある場合には、「その他の事項」の欄にその理由を記入する。</p> <p>転居予定者は、転居予定先の住所を記入する。</p> <p>学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現の状況を観点ごとに評価する。</p>

項 目	基 本 事 項	留 意 事 項
2 欠席の状況	<p>1 第5学年の欄は、児童指導要録から転記する。</p> <p>2 第6学年の欄は、平成19年11月16日(金)現在で記入する。</p> <p>3 欠席日数が各学年ごとに10日以上ある時には、備考欄に主な理由を記入する。</p>	<p>該当する日数がない場合には、空白とせず0と記入する。</p> <p>不登校児童については、次の3要件を満たし、学校への復帰を前提に本人の自立を助けるうえで有効・適切な相談・指導を公的機関等で受けた場合は、その日数を児童指導要録上、出席扱いができる。</p> <p>保護者と学校の間には十分連携・協力がある。</p> <p>相談・指導を受ける場合は原則として公的機関であること。</p> <p>民間機関の場合は、校長が教育委員会と連絡をとり判断する。</p> <p>通所・入所し、相談・指導を受けることを前提とすること。</p> <p>(平成4年9月24日 文部省通知)</p>
3 行動の記録	<p>1 第5学年の欄は、児童指導要録から転記する。</p> <p>2 第6学年の欄は、平成19年11月16日(金)現在で記入する。</p>	
4 特別活動の記録	<p>1 活動の状況</p> <p>ア 第5学年の欄は、児童指導要録から転記する。</p> <p>イ 第6学年の欄は、平成19年11月16日(金)現在で記入する。</p> <p>2 事実及び所見</p> <p>2年間の記録(ただし、第6学年は平成19年11月16日(金)現在)の中から記入する。</p>	<p>「特別活動」における活動の状況について、主な事実及び総合的に見た場合の所見を記入すること。</p> <p>箇条書きでもよい。</p>
5 総合的な学習の時間の記録	<p>2年間の記録(第5学年は児童指導要録の記録、第6学年は平成19年11月16日(金)現在)の中から、児童の学習状況や成果等の評価を文章で記入する。</p>	<p>記入内容は、児童の学習状況の顕著な事項やどのような力が身に付いたかなどとする。</p>
6 その他の事項	<p>公的機関による資格認定、特筆すべき記録等があれば具体的に記入する。</p>	<p>特筆すべき記録等は、学校内外におけるスポーツ活動や文化活動、ボランティア活動等について記入する。ただし、「特別活動の記録」の欄に記載すべきことは除く。</p>